



川崎市重症心身障害児(者)を守る会

〒214-0014 川崎市多摩区登戸 2981 サポートセンター ロンド内

tel (携帯) 090-4719-6369 FAX 044-930-0128

2004.12.07 会報 第1号

日、一日と寒さが厳しくなりました。会員の皆様、ご家族もお元気にお過ごしでしょうか。
平成16年4月23日に川崎市重症心身障害児(者)を守る会が立ち上がりました。
大変遅れましたが、初めての会報をお届けします!!! この会が川崎市の重症心身障害児(者)の方々の、様々な問題を考えて行くための拠点となっていけたらと、願っています。

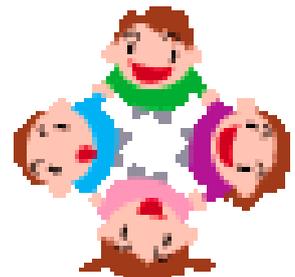
福祉問題が社会の厳しい状況に巻き込まれつつあります。会員の皆様と一緒に子供たちの幸せを祈り、問題の解決に力を合わせていきましょう。

* 重症心身障害児(者)の施設 それいゆ川崎が開設

平成17年春には、いよいよ麻生区に重症心身障害児(者)のための施設がオープン致します。ここに至りますまでには、地域の方々はじめ、療育ねっとわーく川崎、その他たくさんの方の並々ならぬ努力がありました。いい施設が出来ますよう願わずにはられません。

* 守る会発会までの経緯とその後の活動

- H11 北部医療施設への要望と共に、重心施設の建設も希望
- H12 健康福祉局と意見交換
- H13 重症心身障害児(者)施設建設へ向けて、ニーズ調査委員会発足
- H14 健康福祉局障害福祉課に重症心身障害児(者)施設設立の要望書提出
川崎市重症心身障害児(者)施設 基本構想検討委員会発足
- H15 川崎市重症心身障害児(者)施設 建設決定。H17に 社会福祉法人三篠会による重症心身障害児者施設建設が決定。
3月 有志で三篠会経営の広島にある重心施設「鈴が峰」を見学
4月 重症心身障害児者施設建設についての懇談会(新ゆり 21 100名参加)
10月 重症心身障害児者施設建設基本構想に関する懇談(多摩区役所 基本構想検討委員)
- H16 **2月** 重症心身障害児者施設建設経過報告(川崎市中小企業婦人会館 70名参加)
4月 川崎市重症心身障害児(者)を守る会結成(川崎市中小企業婦人会館)
5月 17日 川崎市守る会理事会(ロンド)
6月 13日 全国重症心身障害児(者)を守る会 全国大会に出席(於品川プリンスホテル)
21日 神奈川県守る会第39回定期総会(於:神奈川県民サポートセンター) 三篠会理事長酒井慈玄氏 出席
22日 麻生区に新設中の重症心身障害児(者)施設 ソレイユ川崎の現場見学
当日は一部工事を差し止めて、内部の見学をさせていただいた。
27日 療育ねっとわーく川崎 第4回総会に来賓として出席



- H16 7月 13日 川崎市守る会理事会 (ロンド)
 30日 相模原療育園 見学 有志
- 8月 16日 川崎市守る会理事会 (ロンド)
 24日 支援費制度再申請に関する説明会 川崎市健康福祉局 障害計画課主査 中村久男氏(於 高津市民会館)
- 9月 16日 川崎市守る会理事会 (ロンド)
 27日 障害計画課 中山氏に支援費について質問 (市役所)
- 10月 2～3日 守る会関東甲信越大会に出席 蓼科
 26日 川崎市守る会理事会 (ロンド)
- 11月 9日 同上
 27日 グランドデザイン(案)勉強会 (てくのかわさき)

* NEWS !

8月7～8日に催された「夏の家」(於青少年の家)のために、全国重症心身障害児(者)を守る会から、独立行政法人福祉医療助成補助事業の中の、重症心身障害児(者)在宅介護支援等研修事業費として助成金を受けることになりました。



☆全く知らない場所でご家族から離れ、初めて会う仲間と戸惑いつつも徐々に互いを意識し、微笑ましい場面や普段とはまた違った表情も沢山見受けられました。

同年代のボランティアさん達から発せられるエネルギーをも全身で感じ取っていることが、空間を共にしている私達にもしっかりと感じられました。みんなで貴重な経験を共にした2泊3日でした☆



* 会員の声 支援費の見直し* 今後の課題 (福祉の動向)

娘は重度重複障害者で現在デイサービスに通所しています。週1回デイサービスから帰宅後、15時40分から、訪問看護師、ヘルパーの介助で入浴をしていました。ところが、支援費の再申請でこの時間にはヘルパーに入ってもらえないと言われました。8時30分から17時までにはデイサービスを利用していることになるからと説明されました。(実際のデイサービスの利用は9時9分～15時30分) 娘は注入(経管栄養)時間のこともあり、とても良い時間を利用して、生活のリズムが出来ていたのに何故・・・?

そこで、生活支援センター、福祉事務所のワーカー、ヘルパー、訪問看護師でケース会議を持って検討していただきましたが、結果は今ひとつ納得できないので、直接障害計画課に交渉したところ、3ヶ月継続を、認めると言われました。

今後も継続できるよう、話し合っていきたいと思っています。

支援費制度は障害者が地域で自立した日常生活を営むための支援の筈です。障害のある人のニーズにあった支援であることを祈らずに入られません。

小泉内閣の「財源のないところに施策なし」の三位一体改革に拠るこの案は、私たち障害を持つ子供の親としましては、とても黙って受け入れることの出来ないようなものです。H16年度から18年度までに「第1期改革」、19年度以降に「第2期改革」がなされます。

「全国重症心身障害児(者)を守る会」ではこの40年、この子供たちの生きる権利と幸せを求めて叫び続けてきました。国にお金がなくなって来たのも、国民皆が痛みを分け合うのも理解しなくてはなりません。けれども、そのしわ寄せを一番弱いものの上に及ぼされてはなりません。

上記のような、会員の方の訴えは、これから数多く起こることでしょう。声をあげられない子供たちのために、保護者である私たちが、今後の福祉政策の動向に関心を持ち、またそれについて、もっとよく理解して勉強し、政治や世の中に子供たちの生きる権利や幸せを訴えて行きましょう！

☆聞いて聞いて☆ 素敵な笑顔に逢いました！！

地域の学校のなかよし級に通っている彼女は普段とてもクールな表情で、挨拶をしてもあえて視線を外し、知らん振りをするような、チャーミング（不器用）な自己表現をする方なのですが、修学旅行から帰ってすぐ逢ったその表情は満面の笑みで、しっかり私の目を見つめ、楽しかった日々を訴えかけて来てくれました。

なぜか涙が溢れ、私は彼女を抱きしめずにはいられませんでした。

こんな笑顔を大切にしたい・・・(o^_^o)

* 川崎市重症心身障害児(者)を守る会の役員紹介

会 長	小泉和子	顧 問	江川文誠
副会長	山崎健一	事務局長	谷口久美
理 事	深田キミ子	野村登志男	白市政代 地村明子
	矢部久仁子	石毛幸子	谷みどり

* 川崎市守る会の会員と賛助会員について

正会員とは・・・重症心身障害児(者)の生活や生きる権利を守る会で基本的には保護者。

どんなに重い障害があっても、人間としての尊厳と、幸せな生涯を送れるよう親たちも学習し、行政に働きかけて行く会です。

賛助会員とは・・・上記の親の運動に賛同して、一緒に考えていただく会員。

* 現在の会員数

正会員	31名		
賛助会員	個人	34名	法人 3名



川崎市重症心身障害児(者)を守る会 会員入会のおさそい

年会費 9600円

川崎市重症心身障害児(者)を守る会 賛助会員入会のお願い

年会費 1口 2000円

振込先 00230-4-111029